

〈広報〉
第34号
令和3年
11月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

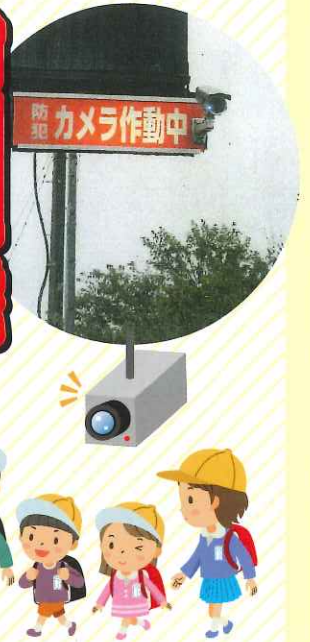
青山小学校区
コミュニティ
協議会
新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

浦山四区自治会は「備えよ常に！」をモットーに地域の安全・安心のため、防犯カメラを設置し、十月から稼働しています。この防犯システムは地域の防犯・防災活動の一環として、また子ども達の見守り活動の補完として、地域住民の総意のうえ、浦山地区第一号の設置となりました。設置までには自治会臨時役員会や育成部および地域の方々との協議を重ねたうえ、新潟市に「防犯カメラ整備補助金事業」を申請しました。八月、審査決定を受け、九月設置工事に着手、十月から稼働となりました。地域の熱意と理解が実った結果でした。

本年度でこの補助金制度は終了となりますが、これを契機に、地域の

備えよ、常に!

浦山四区が 防犯カメラ設置



コミ協や自治協に通学路や地域全体の安全・安心を考える防犯体制の構築、確立へつながる一石になれば何よりと考えています。

(秋山和実・浦山四区自治会長)

地域のお茶の間 NPO法人オアシス

「地域とともにありたい」—オアシスの地域活動のモットーです。

主とした活動は、途中で視覚障害になられた方の自立・リハビリ支援のほか、次のような活動を幅広く展開しています。

- シニア・デジタルお困り教室
- シニア・障害者の3B体操学び教室
- オアシスの樹 みんなのCafe

今後の予定企画は「オンライン・ヨガ・学び講座」、プロのアナウンサーの朗読会、小学生との交流会の内容です。

会場は元有明福祉会館分館で行われています。

(小島 紀代子 記)

〈詳細・問い合わせ〉 ☎025-267-8833



あわてるな！ 思い出すんだ 防災訓練

(青山小児童防災標語)

令和3年度 青山小学校地区自主防災会

コロナ禍の中、体で覚える防災訓練

令和三年度の青山小学校地区自主防災会の防災訓練はコロナ禍のため、合同の主要行事は中止、自治会単位、四つの自治会が避難訓練のほか、災害時の行動指針や注意事項のチラシを全戸配布し、防災意識の向上に努めました。東京オリンピック・パラリンピックもほとんどの会場が無観客開催、無事終了したものの、日本全体がコロナ禍に翻弄され続けている現状です。

昨年度に続き、市からの感染症対策の徹底や規模の縮小、分散開催などの訓練対応指示を受け、当自主防災会実行委員会(田村政敏委員長)では昨年同様、「地区合同防災訓練は行わず、地域ごとの防災訓練も地域の判断を尊重する」を基本方針として取り組みました。今年度の目玉は、委員会に女性防災士二名を加え、女性の意見を訓練に生かそうとの狙いでスタートしました。



備蓄品の収納ラック

防災月間の九月を迎え、青山小学校児童の引き渡し訓練を直前にして、新潟県からの特別警報の延長により、訓練中止が決まり、更に市内公共施設の一休館対応や、避難訓練についても三日から十六日までの開催予定が決定しています。青山小学校でも備蓄品の整備、保管が進められています。災害時に避難所開設の際に必要な用具の入ったボックスや自家発電機、カセットボンベ、携帯トイレ、非常食、保存水、毛布、ペーパータオルなどです。現在は学校内の集会室や教室に分散収納されていますが、順次、収納ラックに整備されていく予定です。これら防災関連の備蓄品については、年次的に避難所現地確認で行政と施設管理者や自治会関係者で点検、確認し、万全を期し有事に備えています。

令和3年度

避難所開設・運営訓練 知識と技術習得に取り組み

昨年度の青山コミュニティハウスの体験に続き、九月二十六日には青山小学校での避難所開設・運営訓練を実施しました。休日でしたが施設管理者(小学校)や市の避難所指定職員及び町内会・自治会から二名程度と参加人数を絞り、総勢二十三名での訓練でした。

訓練内容は、青山小学校の玄関の開錠から始め、入り口付近の受付場所の設置、備蓄品の確認をし、体育館では、段ボールベッド・エアベッド・仕切りテント・簡易トイレ等の組み立て作業を班別に行いました。

参加者の皆さんが、協力し合いお互い確認しながら短時間で設置することが出来ました。その後、訓練反省会と懸案事項として



「青山小 青山コミハ避難所運営委員会」の意見交換会を実施して終了しました。避難所開設にあたり課題は多いですが、近年、我が地域も知識や技術を習得した防災士が増えてきました。この訓練も開催出来なかった資格取得に挑戦する環

定のもは、「出来るだけ中止か訓練内容を縮小の方向が望ましい」と区役所から連絡が続き、直近実施予定の自治会への対応連絡と変更に追われ続けた訓練行事でした。

それでも、コロナ禍における災害対応の重要性から、四つの自治会が一時避難場所への避難行動や、集合場所を班ごとの確認場所への移動等感染予防を考えての訓練が行われました。また訓練や集中を避け、災害時における「避難行動に関するチラシ」を全戸に配布した自治会や、世帯住民の安否確認のみ実施した自治会もありました。

コロナ禍においても災害は襲ってきます。日頃から各自や家庭で、災害に備えるの準備と避難に対する行動を考えておきましょう。

指定避難所の備蓄品についても年次的に整備が進められています。青山コミュニティハウスは備蓄品倉庫の設置と建物内は収納ラック対応、青山小学校でも備蓄品の整備、保管が進められています。災害時に避難所開設の際に必要な用具の入ったボックスや自家発電機、カセットボンベ、携帯トイレ、非常食、保存水、毛布、ペーパータオルなどです。現在は学校内の集会室や教室に分散収納されていますが、順次、収納ラックに整備されていく予定です。これら防災関連の備蓄品については、年次的に避難所現地確認で行政と施設管理者や自治会関係者で点検、確認し、万全を期し有事に備えています。



境の後押しを続けていきたいと思っています。

地域全体が災害に備えて、積極的な避難行動や安否確認の手段などの周知をしていく事が、重要だと考えさせられた訓練でした。

青山小学校体育館での実施訓練にて、コロナ対策上の収容人員は思っていたほど多くの人が入れない状況を全員で確認しました。

最後に、ペットの同行避難についての対応等もこれから具体的に検討していきたいと考えています。

(田村政敏・防災士・浦山二区自治会長・自主防災会実行委員長)



うちの自治会

小針松美台

高齢時代へどう取り組む

会長 佐藤 雅志



小針松美台自治会は、昭和三十四年発足、西大通りと海岸道路に通じる小針十字路線に囲まれた六区・十七班・三百三十二世帯を擁する比較的大所帯の自治会です。今年度は、新しい試みとして、五月には果樹園と提携、季節季節の果物狩りを企画、十月には若い世代を自治会活動に取り込むきっかけになればとパパ・ママ・お子さんを中心に五十人ほどでサツマイモ掘りを体験、どちらも大好評でした。今後は、これらのパワーを防災や除雪など高齢時代ならではの課題に生かしていけるかが課題となります。

10月10日に実施したサツマイモ掘り体験

分別処理徹底しよう



ごみ出しの分別徹底、モラルについて、ゴミステーションの世話人の一人として日頃考えていること、気がついたことについて一言お話しします。皆さんも一緒に考えてみてください。

各町内に設置されているゴミステーションの利用は、同地区の在住者に限られています。同地区以外の外部住民が通途中などで投げ入れていくのは違反になります。一時外部からの投げ入れが頻繁にありました。一部地区で役員や協力者が監視するようになってからはかなり減りました。

分別がしっかりと徹底していない場合は注意して持ち帰ってもらい、分別を再点検して次回に出すよう促しています。高齢者にはなかなか分かってもらえず、同一人が繰り返すケースもよくあります。

ゴミは袋にきちんと入れてしっかりと縛って出してもらいたい。水気があるのは処理の始末が悪く大変です。

ペットボトルの出し方については、ステーションの注意書きをよく見て、キャップ外し・ラベルはがしをきちんとやってもらいたい。分別を徹底し、ゴミ出しのモラルを励行するよう住民各位のご理解ご協力をお願いします。(坂井毅・前関屋掘割町内会役員)



ゴミ出しの外部からの持ち込みは監視が手薄な集積場を狙って巧妙に行われているケースが浦山自治協の二部自治会長から報告されています。上記ルール違反に心当たりのあるひとは、反省してやめて下さい。分別処理を徹底しゴミ袋にしっかりと格納し出すよう、モラル厳守をお願いします。(広報部)



朝方、ステーションで見守る町内の役員さん



関屋分水ブロムナー
 ドの桜並木が今夏の猛暑に悪戦苦闘、一部幼木がダウン気味でした。昨年、枯れた樹を伐採し七本を補植し順調な生育でしたが、数本に部分枯れ状態を呈してしまいました。

夏場、コミ協の会員が暑い中も交代で随時水やりをして面倒をみていたのですが、堀割橋側の二本の生育に特に影響が出て、コミ協は地域在住の樹木医に依頼し様子を見てもらいました。結果、この二



本については、推測の域を出ないとしながらも「樹木の上部に水分が上がっていない状態が頂端枯れにつながっていて、定期的にも害虫が出ているので駆除が望ましい」との指摘がありました。

これを基に、西区建設課に報告したところ「早急に造園業者に相談し対応したい」との回答でした。関屋分水路の桜・ポプラ並木を抱える当地区にとつて、樹木医のプロの存在は心強い限りです。

青山コミハウスサークル紹介

カ・フラ・オ・ナー・プアケア(フラダンス)

サークルの名称「カ・フラ・オ・ナー・プアケア」は、花が集うという意味です。フラダンスの魅力は、とても幸せな気分になれること、と聞きました。

陽気なハワイアン曲に合わせて、誰もが無理することなく、明るい気持ちで優雅に踊れるからです。



同会の代表は、ハワイの先生に師事しておられて、ダンスの指導を通して当地の文化や伝統をもお伝えしています。

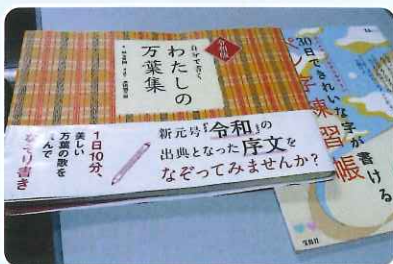
会員の年齢は、小学生から80歳代の方まで幅広く、初心者から経験者まで様々です。通常、秋の文化祭には発表会があります(今年はコロナ禍のため、文化祭中止)。



●月・水・土曜(ひとり月3回)

青山ペン習字教室

美しい文字を書くことは、心をやすらかに満たします。独学で習得することがむずかしいペン習字ですが、ほかの方と一緒に、なごやかな楽しい雰囲気の中で、学び続けることができます。



ひとりひとりの個性を生かしながら練習を重ねていきます。ちょっとした助言がヒントになって突然上達するとか、思いがけない喜び、充実したひと時を提供します。

●第2・第4金曜日 午後1:00~2:30
 午後3:00~4:30



※この広報誌は新潟市の助成金を受けて発行しています。